

第 109 回 全国健康保険協会千葉支部評議会の概要報告

開 催 日	令和元年 12 月 3 日 火曜日 14 : 30 ~ 16 : 00
開 催 場 所	日本生命千葉ビル 4 階会議室
出席者	飯田評議員、一法師評議員、小賀野評議員、鈴木評議員、 中野評議員、萩原評議員、宮本評議員（五十音順）
議題	1. 令和元年度千葉支部の上期実施状況について 2. 令和 2 年度千葉支部事業計画および保険者機能強化予算について 3. 令和 2 年度保険料率に関する議論の状況について 4. インセンティブ制度に係る平成 30 年度実績【確定値】について 5. その他
議 事 概 要 (主な意見等)	

議事概要

1. 令和元年度千葉支部の上期実施状況について

■資 料 1 : 令和元年度千葉支部上期実施状況

《主な意見・質問等》

◆「業務の標準化・簡素化・効率化の徹底」について、2 名人員が減っているにも関わらず、**超過勤務が減っていると伺ったがどのように効率化しているのか。うまくできすぎているような気がするが、どこかで無理をしていないか。《学識経験者》**

⇒効率化の取組の背景として全国健康保険協会の支出の中で現金給付が全体の 5% 超にも関わらず、正職員の約半数のマnpワーを注いでいる現状があり、この状況を打開するため、全国で業務の効率化に向けて取組んでいます。具体的な取組として、これまで担当ごとに縦割りで行っていた業務を、グループ全体で日々の業務量に応じて振り分けることにより業務の偏りを平準化し生産性を向上させています。

◆「協会けんぽオンライン資格確認業務の利用率向上」について、オンライン資格確認システム利用のための USB を長期間利用していない医療機関に配布したままであるのは、USB 本体から個人情報のデータが流出する恐れがあるのではないか。またオンライン資格確認業務の利用率は向上せず、マイナンバーでの資格確認の取組も進んでいない中今後どうするのか。《学識経験者》

⇒本来であれば医療機関の外来受診の方等のオンライン資格確認を図るところ、千葉では健診機関を対象として配布をしたため、利用率が伸びず回収に向けて取組んでいる次第です。

また、オンライン資格確認につきましては国を挙げて進めている取組であり、2 年後にはマイナンバーカードでの資格確認の導入が予定されています。これによりどの健康保険に加入

しているか即座に判明させることができ、さらに、医療機関が診療報酬を請求する段階であらためて確認することにより資格喪失後受診に伴う債権発生を防ぐことが期待されています。

なお、USB本体には個人情報が入っておらず流出の恐れはありません。

◆資格喪失後受診について、想像していたよりも多く、個人的には健康保健証が回収できなくとも「健康保険証回収不能・滅失届」を提出すればよいと思っており、退職者が資格喪失後、健康保険証を使用している現状を把握できていなかった。これは保険料率の上昇につながる。今後資格喪失後受診を防止するために、毎月事業所にお送りしている納入告知書同封チラシに「給与担当者へお渡しください」といった現場担当へ回覧をすすめるような文を入れ、健康保険証回収を促す広報をしてはどうか。《被保険者代表》

⇒資格喪失後受診によって発生する債権の回収率は5割であり、残りの5割は不良債権として引き続き回収を進めている状況です。今後発生を減らしていくためにも、医療機関に資格喪失後受診についてのポスターを配布するといった広報や、年金事務所と一緒に事業所が資格喪失届を提出する際に健康保険証の早期回収を促すための取組を進めていきたいと考えています。

◆「健康な職場づくり宣言取組事例集」は「健康な職場づくり宣言」事業所にのみ配布しているのか。《学識経験者》

⇒「健康な職場づくり宣言取組事例集」は健康保険委員のほか、県や市などの関係機関、セミナー等でも配布を行っています。

2. 令和2年度千葉支部事業計画および保険者機能強化予算について

■資料 2：令和2年度千葉支部事業計画及び保険者機能強化予算について（案）

《主な意見・質問等》

特になし

3. 令和2年度保険料率に関する議論の状況について

■資料 3-1：令和2年度保険料率について（支部評議会における主な意見）

■資料 3-2：医療保険制度の改革に向けた被用者保険関係5団体の意見

《主な意見・質問等》

◆兵庫支部の意見では単年度収支の考えと保険料率引き下げについてあったが、協会としてはどう考えているのか。相当額の黒字が出た場合、保険料率を引き下げるべきという意見を持つ支部も増えるのではないか。《学識経験者》

⇒現在は、中長期的に見ていくという方針としていますが、協会としては全ての支部評議会の意見を踏まえて保険料率の検討を行っています。保険料率を引き下げることは、国庫補助の引き下げにもつながるといった意見もあるため慎重に検討していくことが必要であると考え

ています。

4. インセンティブ制度に係る平成 30 年度実績【確定値】について

■資料 4：インセンティブ制度に係る平成 30 年度実績【確定値】及び平成 30 年度実施結果の検証について

《主な意見・質問等》

特になし

5. その他

■資料 5：令和元年台風第 19 号による被災者に係る対応について

《主な意見・質問等》

特になし

特記事項	なし。
------	-----

次回の開催は令和 2 年 1 月 15 日（水）の予定。